

COBOL ステートメント - PERFORM

[COBOL]

プロシージャに明示的に制御を移し、プロシージャの実行終了後に、PERFORM ステートメントの次のステートメントに制御を戻す。

繰り返し処理を記述するのに利用できる。

行外 PERFORM

プロシージャ名が指定された場合

行内 PERFORM

プロシージャ名が省略された場合。END-PERFORM により、区切る必要がある

基本

```
PERFORM [ プロシージャ名 [ {THROUGH | THRU} プロシージャ名 2]]  
[ 命令文 1 END-PERFORM]
```

- ・THROUGH プロシージャ名 2 まで指定されているときには、2 つ以上の段落を実行する。

TIMES 句付き

指定した回数だけ実行し、次の行へ戻ってくる

```
PERFORM [ プロシージャ名 [{THROUGH | THRU} プロシージャ名 2]]  
[{ 一意名 1 | 整数 1 } TIMES 命令文 END-PERFORM]
```

```
PERFORM SUB1 4 TIMES
```

SUB1 を 4 回繰り返し実行し、元に戻る

UNTIL 句付き

UNTIL 句によって指定された条件が真になるまで実行し、次の行へ戻ってくる

```
PERFORM [ プロシージャ名 [{THROUGH | THRU} プロシージャ名 2]]  
[WITH TEST {BEFORE | AFTER}]  
UNTIL 条件 1  
[ 命令文 END-PERFORM]
```

```
PERFORM SUB1 UNTIL N > 20
```

SUB1 を N が 20 を超えるまで実行する

TEST オプション	内容
TEST BEFORE	条件判定を、命令文の前に実行
TEST AFTER	条件判定を、命令文の前後に実行

VARYING 句付き

ある一定の規則に従って、1 つまたは複数の ID や指標名の値を増やすか、または減らします

```
PERFORM [ プロシージャ名 [{THROUGH | THRU} プロシージャ名 2]]  
[WITH TEST {BEFORE | AFTER}]  
VARYING データ名  
FROM 初期値  
BY 増分  
UNTIL 条件  
[ 命令文 END-PERFORM]
```

```
PERFORM VARYING J FROM 1 BY 1  
      UNTIL J > 100  
      ADD J TO GOKEI  
ENF-PERFORM.
```